

自動採血管準備装置
BC・ROBO
8000
RFID

求められている未来の、一歩先。 採血管準備装置は、新しい領域へ。

採血室の近未来を模索して、採血管準備装置のパイオニア テクノメディカが到達した

BC・ROBOシリーズの新しいカタチ、BC・ROBO-8000 RFID。

最先端を求めた研究開発とたゆまぬ技術探求が切り開く、その先の一步は、ここに始まります。



自動採血管準備装置

BC・ROBO-8000 RFID から始まる

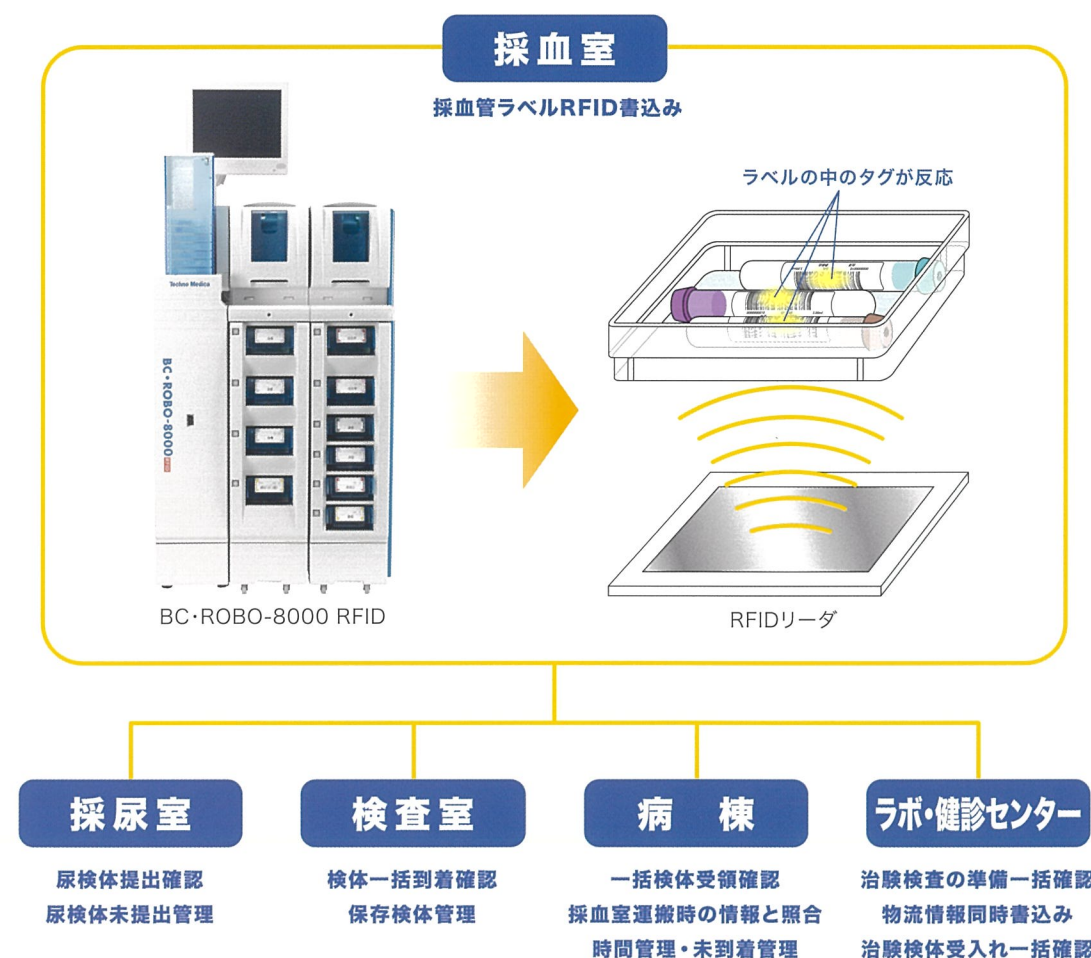
RFID 検体情報統括管理システム
TRIPS (Technomedica Rfid Process control System)

無線タグやICタグとも呼ばれるRFID、非接触で瞬時に多くのRFIDに書き込まれたデータを読み取ることが可能です。

BC・ROBO-8000 RFIDは、ラベルに印刷すると同時に、ラベルに仕込まれたRFIDに、検体ID等の書き込みを実現しました。(オプション)

これによりトレイの中の採血管一括照合はもちろんのこと、さらに検体のRFID識別により、ラック単位での検体到着確認、病棟での一括検体受領確認、尿検体提出確認、検体保管庫内の位置確認から、治験検査のトレーサビリティに至る幅広い展開をも可能にするRFID検体情報統括管理システム「TRIPS」。

一歩先の採血室を目指したテクノメディカからの回答です。



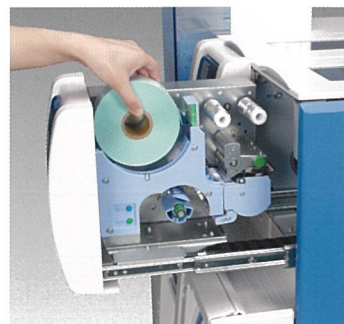
安全・安心、簡単・確実を
追求し続けた研究開発が
ハイエンドマシンとして
結実しました。



これからの院内情報革命の核を担うとされるRFID技術、
直感的な操作が可能な新型タッチディスプレイなどの最新IT技術と
オールインワン型のトレイ発行、優れた拡張性など信頼の製品特性をこの一台に凝縮。
医療業務の未来を切り開くテクノロジーの採血室革命です。

ラベルセットもワンタッチの オートローディング機能搭載

ラベルロールを置くだけの簡単操作。
給紙から台紙の巻き取りまでを全
自動処理。用紙交換の手間を軽減し、
スピーディな業務を実現します。



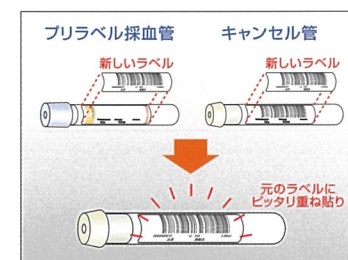
入れ間違いを見逃さない 安心の採血管混在検知機能

画像処理により、ラベル添付前に採血
管の管長、管径、キャップ色を判定。
異なる採血管の混在を検知してディス
プレイに表示します。



ブリラベルもキャンセル管も 元のラベル位置に合わせて重ね貼り

多種多様なブリラベル(製品ラベル付き)
採血管やオーダーキャンセル・誤発行
された採血管のラベル位置を自動検出。
エッジを合わせた正確な重ね貼りにより
ラベルが採血管を覆ってしまう心配も
ないため、検体も容易に確認できます。



『直感タッチ』の新型ディスプレイで 簡単操作

スライド・スクロールなど直感的な操作に対応した新型タッチ
ディスプレイを標準装備。話題のスマートフォンやタブレット
端末さながらの快適な操作で、スムーズ&スピーディな操作を
実現。基本操作をメイン画面に集約することで、より使い
やすく効率的な操作が可能になりました。



市販されているほぼ全ての 採血管が使えます

ゴム栓、フィルム栓、プラスチックキャ
ップに対応。外径12~18mm、長さ75
~113mmまでの真空採血管・尿スピ
ッツ管の使用が可能です。また、採血
管は装置前面よりケース毎のセットが
可能です。



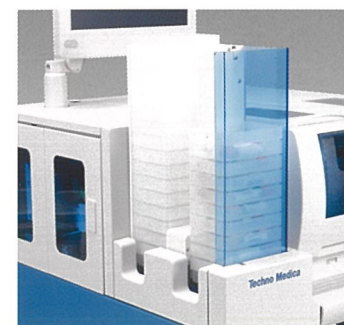
1台で外来・病棟の 並行発行に対応

使いやすさを最優先させたトレイ搬送・
トレイ積み重ね一体型設計により、
外来と病棟発行の同時稼動を実現。
外来発行は装置前面に、病棟発行は
積み重ねに分別して準備します。



トレイ積み重ねユニットを 標準装備

発行済みトレイの積み重ね個数20個
+空トレイ積み重ね個数20個の収納
が可能なトレイ収納積み重ねユニット
を標準装備しています。



※パッキングユニット、ラック立てユニット、
自動搬送採血台(RFID対応有)もご用意
いたしております。
オプション接続でさらに使いやすさアップ。

6管種ユニットの登場でさらに多彩なニーズに対応。 環境や使用方法に合わせて選べるオーダーメイドのシステム構成

4管種ユニットに加え、6管種（標準2、少量4）ユニットを用意。

最大5ユニット30管種の自動貼りに対応しています。

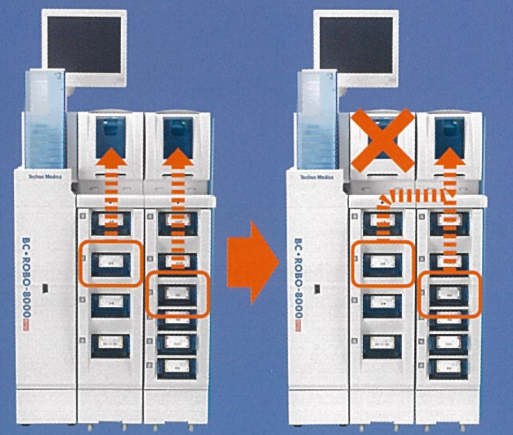
導入後の環境変化によるシステムアップにも対応した拡張性も大きな魅力です。

多彩なバックアップ機能の連携が実現した トラブルサポートシステム

突然のマシントラブルにも万全の多重バックアップ機能

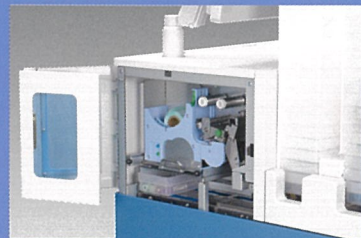
キャリッジ機能により、取り出し採血管の、ユニット間横断搬送が可能となりました。これにより、一部の機構部が故障しても、採血管を迂回搬送し自動貼りを確保します。
また、ユニットのプリンタ部全てにトラブルが生じた場合でも、採血管と手貼りラベルをトレイに収納します。

例えば、1台のプリンタにトラブルが生じた場合、採血管を他ユニットに搬送し、自動貼りが可能です。3台以上の複数ユニットの場合でも、1台のプリンタが正常動作していれば、自動貼りが可能です。



未発行採血管を分別管理する採血管リジェクト機能

万が一のトラブルにより、未完全発行となった採血管を初期化時にストック一へ排出。正常に発行された採血管との混在による採血ミスを未然に防止します。



ラベル貼り付け済み採血管のバーコード検証機能

ユニット内蔵のバーコードリーダーにより、ラベル貼り付け後の採血管を読みとり照合します

各採血管の残量をディスプレイに一覧表示する採血管残量検知機能

残り少なくなった採血管の残量をディスプレイ上に見やすく表示。事前情報の入手でムダのない作業環境をサポートします。



ユーザーメンテナンスも容易な画像表示のエラー表示機能

ディスプレイにトラブル箇所やトラブル内容を分かりやすく画像表示。エラー時のユーザーメンテナンスも簡単操作で実行可能です。



管種変更・管種配列も自由自在採血管ケース自動認識機能

採血管ケースの管種を自動認識するセンサーを搭載、キー操作の手間もなく採血管ケースを差し替えるだけで交換が可能です。採血管誤挿入検知機能の進化が安全と使いやすさを実現しました。

Small



1ユニット (4管種)



1ユニット (6管種)

Middle



2ユニット (8管種)



3ユニット (16管種)

Large



4ユニット (20管種)

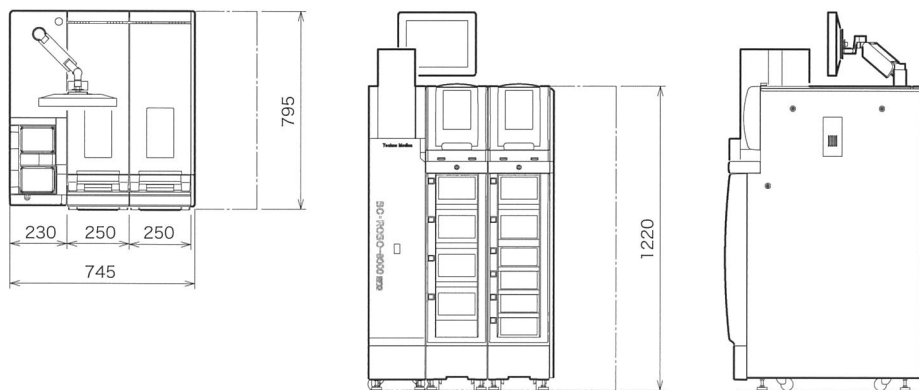


5ユニット (30管種)

BC・ROBO-8000 [RFID] 仕様一覧

適用採血管	外径:φ12~18mm 長さ:75~113mm ゴム栓、フィルム栓、プラスチック栓、栓無し分注管、尿スピッツ管 (形状によっては使用できないものもあります)
処理能力	12秒/1患者(4本の場合) 連続発行時300人/時間
採血管収納本数	標準供給部:100本 少量供給部:35~50本(採血管の形状により異なります)
トレイ収納個数	空トレイ積み重ね個数:20個 発行済みトレイ平面待機個数:4個(2ユニット構成の場合、ユニット構成により異なります) 発行済みトレイ積み重ね個数:20個
印字方式	ダイレクトサーマルまたは熱転写
印字種類	バーコード:code128,code39,JAN,ITF,NW-7(codabar) 文字:英数字、カナ、ひらがな、記号、漢字
各種印字機能	90度/180度/270度回転、LINE、BOX、白黒反転、文字間隔設定
プリンタ自己診断	ペーパーエンド検出、ヘッドオープン検出
ラベル	30×50、35×50、30×60mm RFIDラベル使用可能(オプション) ※装置の安定稼働のため純正ラベルをご使用ください。
ラベル用紙のセット	オートローディング
バーコード検証機能	ラベル貼付後にバーコードリーダで読み取り検証
採血管混在検知機能	画像処理により、キャップ形状、色、管長、管径を検出し正誤判定
標準ソフトウェア	・上位システムとの接続方式 IHE LBLプロファイル準拠、TCP/IP、RS-232C簡易手順 (BC・ROBO通信仕様書を参照ください) ・連続発行/外来発行/病棟発行/外来優先発行/緊急割り込み発行/再発行 ・ラベル貼付位置は容器毎に設定可能 ・ラベル印字フォーマットは容器毎に設定可能 ・患者データの非表示切換 ・時間帯別患者数等、統計データのCSV出力
電源	単相AC100V 50/60HZ
消費電力	500VA(2ユニット構成の場合)
外形寸法	745(W)×795(D)×1220(H) (2ユニット構成の場合、トレイ収納部・パネルPCの高さは含まず)
本体重量	350kg(2ユニット構成の場合)

- 外観、仕様は改良のため、予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。
- オプション:パッキングユニット、ラック立てユニット、自動搬送採血台(RFID対応有)



オプション

StatVein付き採血台システム



静脈を検出し瞬時に皮膚の上に投影する
画期的なハンディタイプの静脈可視化装置 StatVeinを
装備した採血台です。

非接触型 静脈可視化装置

StatVein



静脈穿刺の確実性向上により
患者さんの満足度も向上

血管が見えづらく採血に時間を要するお子様などの
穿刺時間の大幅な短縮

災害や停電時など、照明が使えない
暗い部屋や電源がない状況での静脈穿刺



安全に関するご注意

- ご使用前に必ず「取り扱い説明書」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

- 熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながる場合があります。異常を感じた場合はすぐに操作を停止し、お買い上げの代理店、販売店、または弊社までご連絡ください。

本カタログは、2015年5月現在のものです。

TMC 株式会社テクノメディカ 本社 〒224-0041 横浜市都筑区仲町台5-5-1 TEL(045)948-1961 FAX(045)948-1962
URL <http://www.TechnoMedica.co.jp> E-mail info@TechnoMedica.co.jp

名古屋支店 〒464-0850 名古屋市中千種区今池5-4-3 6F TEL(052)741-1516 FAX(052)741-1517
大阪支店 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-6 11F TEL(06)6393-3800 FAX(06)6393-3801
福岡支店 〒812-0015 福岡市博多区山王1-11-35 4F TEL(092)483-7333 FAX(092)483-7334
札幌営業所 〒060-0042 札幌市中央区大通西7-2-5 4F TEL(011)271-3770 FAX(011)271-3760
仙台営業所 〒981-3133 仙台市泉区泉中央1-14-1 3F TEL(022)771-9333 FAX(022)771-9334

北関東営業所 〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町2-44 5F TEL(048)650-8191 FAX(048)650-8192
甲信越営業所 〒390-0872 松本市北深志3-9-6 2F TEL(0263)38-0016 FAX(0263)38-0017
広島営業所 〒730-0802 広島市中区本川町2-6-5 6F TEL(082)961-3670 FAX(082)961-3671
松山営業所 〒790-0056 松山市土居町23-5 1F TEL(089)945-3870 FAX(089)945-3871